

1 単元について

|             |   |
|-------------|---|
| 対 象 学 年     | 中学校 第1学年  |
| 学 習 指 導 事 項 | 聞くことの言語活動（エ）<br>話すことの言語活動（イ）  |
| 単 元 名       | Unit 6 南半球からのメール（8時間）<br>NEW HORIZON English Course 1   |
| 単 元 目 標     | 自分の家族の一人について、間違いを恐れないで、聞き手の理解に応じて工夫しながら紹介しようとする。（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）<br>正しい発音、強勢、イントネーションを用いて、人物についての内容を正しく伝えたり、相手の理解に応じて工夫して話したりすることができる。<br>（表現の能力）<br>家族の紹介について、うなずきや繰り返しなど理解を示しながら聞いたり、聞き取れなかった時に聞き返したりして、正しく理解することができる。<br>（理解の能力）<br>三人称の概念と、人称によって一般動詞の語尾が変化することについて正しく理解している。<br>（言語や文化についての知識・理解）   |
| 配 慮 事 項     | 基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫<br>単元の指導過程の工夫<br>・単元の導入に当たり、教師がモデルを提示し、単元の終末で目指す表現活動のイメージを具体的にもたせることにより、毎時間の言語活動に意欲的に取り組めるようにする。<br>・紹介する話題を最高3つまでとして、各自の力に応じていくつの話題を紹介するかを選択させ、誰もが確実に紹介できるようにする。<br>単位時間の指導過程の工夫<br>・第1時～第6時の最初に「帯活動」として、様々な一般動詞の定着及び一般動詞の三人称単数現在の文の定着を図るためにカードゲームを行う。<br>・第2時～第7時に、「帯活動」として、ペアで家族の一員を紹介する活動を位置付けることで、本単元で目標とする表現力、理解力を少しずつ身に付け、単元の終末の活動では、抵抗なく表現活動ができるようにする。<br>言語活動の工夫<br>・家族の一人のことを紹介する活動を仕組むことは、聞き手にとってあまり知らない存在であるために、インフォメーションギャップができ、言語活動の必然性も生まれてくる。<br>・家族の紹介原稿をすべて書いて紹介するのではなく、紹介に必要な最低限のキーワードのみを書き、メモを見ながら伝えたいことを英語で紹介していく力を育てる。<br>評価の工夫<br>・補助簿に生徒の表現活動におけるよさや課題、さらには変容したことをメモし、それをもとに、よりの確な評価や指導・援助を行う。<br>・教師が意図的に作った1グループ3人のメンバーで課題解決に向けての活動に取り組むことで、生徒同士による相互評価を位置付ける。<br>・単元の終末の活動においては、少人数に分け、一人一人の紹介をビデオに撮ることで、JTEとALTでの確な評価ができるようにする。 |
| 参 考 資 料     | 資料1：帯活動で使うカード（第1時～第7時の導入で使用）<br>資料2：家族紹介自己評価表（毎時間の目標をもつ場面と振り返りの場面）<br>資料3：三人称単数現在の学習で用いた学習プリント（練習問題プリント1，2，3とALTのプロフィールプリント）（第1，2，3時に使用）<br>資料4：家族紹介のモデル（第1，6，7時に使用）<br>資料5：家族紹介構想表（第4時～8時に使用）<br>資料6：家族の紹介表現集（第2時～5時に使用）<br>資料7：パフォーマンステスト（テスト内容・審査用紙）（第8時に使用）   |

## 2 単元の評価規準

|                 | ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度   | イ 表現の能力  | ウ 理解の能力  | エ 言語や文化についての知識・理解  |
|-----------------|---|--|--|--|
| 聞く評価と規準         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。</li> </ul>   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初歩的な英語を正しく聞き取ることができる。</li> <li>・初歩的な英語を場面や状況に応じて、適切に聞くことができる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。</li> <li>・初歩的な英語の学習において取り扱われた文化について理解している。</li> </ul> |
| 話す評価と規準         |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初歩的な英語を用いて、自分の考えや気持ちなどを正しく話すことができる。</li> <li>・初歩的な英語を用いて、場面や相手に応じて適切に話すことができる。</li> </ul>  |  |  |
| 単元の評価規準         | <p>(言語活動への取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間違いを恐れず既習表現を用いて話している。</li> </ul> <p>(コミュニケーションの継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き手の理解を確かめながら話している。</li> </ul> | <p>(正確な発話)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい発音、強勢、イントネーションを用いて内容が正しく伝わるように話すことができる。</li> </ul> <p>(適切な発話)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の理解を確認し、それに応じて話すことができる。</li> </ul> | <p>(正確な聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強勢、イントネーション、区切りなどを手がかりに内容を正しく聞き取ることができる。</li> </ul> <p>(適切な聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大切な部分を繰り返して内容を確認したり、聞き取れなかった時には聞き返したりして、大切な部分を聞き取ることができる。</li> </ul> | <p>(言語についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主語が三人称単数現在の文の意味・形態・用法を理解している。</li> </ul>                        |
| 学習活動における具体の評価規準 | <p>間違いを恐れずALTや家族の紹介をしている。相手の理解を確認し、それに応じて話そうとしている。</p> <p>ALTや家族の紹介に対して、反応をしながら意欲的に聞こうとしている。</p>  | <p>三人称単数現在の文を用いて、学級の仲間やALT、家族のことを正しく伝えることができる。</p> <p>正しい発音、強勢、イントネーションを用いて、家族のことを聞き手に正しく伝えることができる。</p> <p>相手の理解を確認し、それに応じて、繰り返す、言い換える、写真を用いるといった家族の紹介をすることができる。</p>                                     | <p>ALTや家族の紹介を強勢、イントネーション、区切りなどを手がかりに、その内容を正しく聞き取ることができる。</p> <p>うなずいたり、繰り返したりなど理解を示しながら聞くことができる。</p> <p>ALTや家族の紹介を聞いて、聞き取れなかった時に聞き返すことができる。</p>  | <p>三人称単数現在の肯定文、疑問文、否定文の意味、形態、用法を理解している。</p>  |

3 指導と評価の計画（全7時間）

| 時 | ねらい   | 学 習 活 動   | 評価規準 |   |   |   | 評価方法   | 指導・援助   |
|---|---|---|------|---|---|---|--|---|
|   |   |   | ア    | イ | ウ | エ |  |   |
| 1 | 単元の終末の活動のイメージと単元の概要を理解するとともに、「付けたい力」や人物紹介に必要な三人称単数現在の表現を理解し、単元の目標と見通しをもつことができる。 | <p>（第1時～第6時はTT）</p> <p>【導入】<br/>Greeting<br/>カードゲーム（帯活動）<br/>（資料1のカードを使用）</p> <p>【展開】<br/>モデルとなる自己紹介を聞き、単元の終末の活動のイメージをつかむ。（資料4の家族の紹介モデルを参照）<br/>単元を貫く課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Let's introduce a member of your family.<br/>正しい発音で、伝えたい内容に応じて、強勢やイントネーションを使い分け、相手の理解を意識しながら家族の紹介をしよう。</p> </div> <p>単元の学習の流れを知り、単元の学習の見通しと、自己目標をもつことができる。<br/>（資料2の家族紹介自己評価表を使用）</p> <p>【終末】<br/>練習問題を通して、三人称単数現在の肯定文の意味・形態・用法を理解する。<br/>（資料3の学習プリント1を使用）</p> <p>本時の振り返り</p> |      |   |   |   | <p>全体の様子<br/>観察</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Introduction<br/>This is my daughter Kaho.<br/>She is eleven years old.<br/>She is very tall.<br/>She is 157 centimeters tall.</p> <p>Topic1<br/>She likes <i>shuji</i> very much.<br/>And she goes to <i>shuji</i> school every week.<br/>She can write <i>kanji</i> and <i>hiragana</i> very well.<br/>And she has the second grade.</p> </div> <p>個別指導による観察と練習問題のチェック</p> | <p>T1は、一人一人の生徒が理解できるように、全員の反応を見ながら、正しい発音で、強勢、イントネーションを意識する、理解を確かめる、繰り返す、写真を用いる、といった工夫のある紹介を行う。</p> <p>特に表現に関わって具体的な目標をもつように指導する。</p> <p>援助が必要な生徒に対して、再度説明する。<br/>生徒のつまずきに応じて練習問題のアドバイス欄にアドバイスを書く。</p> |
| 2 | 三人称単数現在の肯定文、否定文を理解し、インタビューして得た情報を第三者に紹介することができる。                                | <p>【導入】<br/>Greeting<br/>カードゲーム（帯活動）<br/>（資料1のカードを使用）<br/>ペアでの家族紹介</p> <p>【展開】<br/>本時の学習課題を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>インタビューして得た情報を、三人称単数現在の文を用いて、第三者に正しく伝えよう。</p> </div>  |      |   |   |   | <p>活動の観察</p> <p>家族紹介の introduction の部分（名前、年齢、職業など）が言えるように全体で練習し、ペアでの活動では、つまりながらも家族の紹介をする姿を認める。</p>   |   |

|   |   |  |  |  |  |   |  |
|---|---|--|--|--|--|---|--|
|   |   | <p>動詞カードを用いて、主語に応じた動詞の変形練習を行う。(資料1のカードを使用)</p> <p>練習問題を通して、三人称単数現在の否定文の形態・用法を理解する。<br/>(資料2の学習プリント2を使用)</p> <p><b>【終末】</b><br/>4人グループで、最初はペアで動詞カードを用いて、インタビューを行い、情報をメモする。インタビュー終了後、ペアを変え、メモした情報を伝える練習を行う。</p> <p>本時について振り返る。<br/>(資料2の自己評価表を使用)</p>  |  |  |  | <p>個別指導による活動の観察</p> <p>個別指導による観察と練習問題のチェック</p> <p>活動の観察</p> | <p>主語による動詞の変化を理解し、正しく発音できるかを見て回る。</p> <p>援助が必要な生徒に対して、再度説明する。</p> <p>生徒のつまずきに応じてアドバイスを書く。</p> <p>肯定文の動詞の変化や否定文が理解できているか見て回り、必要に応じて個別指導を行う。</p> <p>特に援助が必要な生徒のことを、補助簿にメモしておく。</p> |
|   |   | <b>活動例</b>   |  | <p>(AがBにインタビュー)</p> <p>A: Do you like English?<br/>B: Yes, I do.<br/>A: What do you want?<br/>B: I want a lot of money.<br/>(AがCにBの情報を紹介)</p> <p>A: B likes English.<br/>A: He wants a lot of money.</p> |  |   |  |
| 3 | <p>三人称単数現在を用いたいくつかの疑問文とその答え方を理解し、第三者について質問し、情報を正しく聞き取ることができる。</p> | <p><b>【導入】</b><br/>Greeting<br/>カードゲーム<br/>(資料1のカードを使用)<br/>ペアでの家族紹介</p> <p><b>【展開】</b><br/>本時の学習課題を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>三人称単数現在の文を用いて、第三者のことについて質問し、情報を正しく聞き取ろう。</p> </div> <p>練習問題を通して、Does he (she)~?の意味と用法を理解する。(資料3の学習プリント3を使用)</p> <p><b>【終末】</b><br/>数名のALTについてインタビューし、プロフィールを完成する。(資料3のALTプロフィールプリントを使用)<br/>本時について振り返る。<br/>(資料2の自己評価表を使用)</p> |  |  |  | <p>個別指導による活動観察</p> <p>個別指導による観察と練習問題のチェック</p> <p>活動の観察</p>  | <p>食べ物、スポーツなどの好き、嫌いを紹介できるよう表現集を利用して文の作り方を指導する。</p> <p>援助が必要な生徒に対して、再度疑問文の作り方を説明する。</p> <p>生徒のつまずきに応じてアドバイスを書く。</p> <p>援助が必要な生徒には、プロフィールプリントを用いて、一緒に考える。</p>                      |
| 4 | 家族の一人   | <b>【導入】</b>  |  |  |  |   |  |



|   |  |   |  |  |  |  |   |   |
|---|--|---|--|--|--|--|---|---|
|   |  | <p>【終末】</p> <p>メモしたキーワードを見て正しく紹介できるように練習する。</p> <p>本時について振り返る。<br/>(資料2の自己評価表を使用)</p>   |  |  |  |  | 活動の観察   | <p>する。</p> <p>キーワードをもとに正しい英文を話すことができているか、-s(es)のついた動詞の発音ができているかを確認していく。</p>   |
| 6 | <p>紹介する人の特徴が聞き手に正しく伝わる紹介をするために、正しい発音、強勢、イントネーションを意識して話すことができる。</p> | <p>【導入】</p> <p>Greeting<br/>カードゲーム<br/>(資料1のカードを使用)<br/>ペアでの家族紹介</p> <p>【展開】</p> <p>本時の学習課題を提示する。</p> <p>聞き手に正しく伝わる紹介の仕方を正しい発音、強勢、イントネーションを中心に構想を考えて、紹介してみよう。</p> <p>教師がモデルを示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モデルを聞きながら、どのような工夫をするとよいかを理解する。<br/>(モデルは第1時と同じ内容)</li> </ul> <p>構想を立て個人練習を行う。</p> <p>グループ練習を行う。</p> <p>【終末】</p> <p>ペアでの家族の紹介</p> <p>本時について振り返る。<br/>(資料2の自己評価表を使用)</p> |  |  |  |  | <p>活動の観察</p> <p>構想の点検と活動の観察</p> <p>活動の観察</p> <p>相互評価</p> <p>活動の観察</p> | <p>補助簿をもとに、前時、正しく紹介できていなかった生徒を中心に英文が正しく発話できているかどうか見届ける。</p> <p>モデルでは、正しい発音で、強勢、イントネーションを意識した紹介の仕方を示す。</p> <p>特徴を示す大切な語や伝えたい語に強勢をおくように指導する。</p> <p>構想に基づいた紹介ができていない生徒には、意識して再度やらせてみたり、モデルを示したりする。</p> <p>相互評価では、生徒同士でアドバイスをしたり、生徒なりに考えたモデルを示したりする。</p> <p>グループ練習からの伸びを認めていく。</p> |
| 7 | <p>紹介する人の特徴が聞き手に正しく伝わる紹介をするために、相手</p>                              | <p>【導入】</p> <p>Greeting<br/>カードゲーム<br/>(資料1のカードを使用)<br/>ペアでの家族紹介</p> <p>【展開】</p>  |  |  |  |  | 活動の観察   | <p>補助簿をもとに、前時、強勢やイン</p>   |

|   |  |  |  |  |  |   |
|---|--|--|--|--|--|---|
|   | <p>の理解を確認し、それに応じて話すことができる。</p>   | <p>本時の学習課題を提示する。</p> <p><b>聞き手に正しく伝わる紹介をするために、相手の理解を確かめたり、それに応じた話し方ができるよう構想を立て、紹介してみよう。</b></p> <p>モデルを示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モデルを聞きながら、どのような工夫をするとよいかを理解する。</li> </ul> <p>(モデルは第1時と同じ内容)</p> <p>構想を立て個人練習を行う。</p> <p>グループ練習を行う。</p> <p>【終末】</p> <p>ペアでの家族の紹介</p> <p>本時について振り返る。</p> <p>(資料2の自己評価表を使用)</p> |  |  | <p>構想の点検と活動の観察</p> <p>活動の観察</p> <p>相互評価</p> <p>活動の観察</p> | <p>トナーションを意識して紹介できなかった生徒には、一緒に発音するなどして援助する。</p> <p>モデルでは、相手の理解を確認し、それに応じた紹介の仕方、繰り返し、言い換え、ジェスチャー等を示す。</p> <p>相手の理解を確認し、それに応じた紹介がなされているかを見届ける。</p> <p>構想に基づいた紹介ができていない生徒には、意識して再度やらせてみたり、モデルを示したりする。</p> <p>相互評価では、生徒同士でアドバイスをしたり、モデルを示したりする。</p> <p>グループ練習からの伸びを認めていく。</p> |
| 8 | <p>これまでに付けてきた力を発揮して、家族の特徴が聞き手に正しく伝わるように、正しい発音や強勢及びイントネーションを意識したり、相手の理解を確認したりしながら工夫して話すことができる</p> | <p>*少人数(等質)の授業形態</p> <p>【導入】</p> <p>Greeting</p> <p>ペアでの家族紹介</p> <p>【展開】</p> <p>本時の学習課題を提示する。</p> <p><b>これまで身に付けてきた力を発揮して、家族の特徴が聞き手に正しく伝わるよう工夫しながら紹介しよう。</b></p> <p>個人練習</p> <p>パフォーマンステスト</p> <p>ペアで家族紹介を行う。(紹介する人と聞く人に分かれて行う。)(資料5のパフォーマンステスト参照)</p>   |  |  | <p>活動の観察</p> <p>活動の観察</p> <p>相互評価</p>                    | <p>補助簿をもとに、前時、相手の理解を確認したり、それに応じて工夫して紹介できなかった生徒を中心に見届ける。</p> <p>紹介の様子をビデオに撮り、JTEとALTで評価する。</p> <p>生徒も一人一人の紹介の仕方と聞き方を評価し、コメントを発表する。</p>   |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  | 【結末】<br>単元の終末の活動を通して<br>自己評価を行う。<br>(資料2の自己評価表を使用) |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|

#### 4 単位時間の授業展開例

##### (1) 本時のねらい

紹介する人の特徴が聞き手に正しく伝わるように、相手の理解を確認し、それに応じて話すことができる。

##### (2) 本時の位置

7 / 8

##### (3) 展開

| 過程 | 学 習 活 動  | 評価について  | 指導・援助  |
|----|--|---|--|
| 入  | Greeting<br>カードゲーム<br>(単元を通した具体的な手だてを参照)<br>ペアでの家族紹介   | ア -<br>イー<br>・強勢やイントネーションを意識して家族の紹介をしている姿や意欲的に反応を示しながら聞いている姿を認めていく。 | ・構想に基づいた紹介ができていない生徒に対して、教師がモデルを示すことで、より強勢やイントネーションを意識した紹介ができるように指導する。<br>・反応を示そうとしない生徒には、実際に教師も一緒に聞きながら反応を示すことで、反応の仕方やタイミングなどを教えていく。 |
| 展  | 本時の学習課題を提示する。<br><b>聞き手に正しく伝わる紹介をするために、相手の理解を確かめ、それに応じた話し方ができるよう構想を立て紹介してみよう。</b>                    |   | ・モデルの中で、内容の切れ目や理解しにくい語のあとに確認を入れたり、理解できない時に、別の表現やジェスチャーや写真などを使った工夫のポイントを示す。   |
| 開  | モデルを示す。<br>・モデルを聞き、どのような工夫をするとよいのかを理解する。<br>(資料4の家族の紹介モデルを参照)<br>構想を立て、個人練習を行う。<br>(資料5の家族の紹介構想表を使用) | イ -<br>・構想の点検と活動の確認<br>モデルで示した工夫のポイントが構想に生かされているかを見届ける。             | ・構想を立てることにつまずいている生徒に対しては、どの文のあとに確認を入れたらよいのか、また、相手が理解できない時にどのような工夫をしたらよいのかアドバイスする。  |
|    | グループ練習を行う。<br>・グループは3人とし、教師が意図的にメンバーを組む。<br>・表現力の優れている生徒をグループ  | イ -<br>・活動の観察   | ・構想に基づいた紹介ができていない生徒には、モデルを示すなどの指   |



|        |   |   |   |
|--------|---|---|---|
| 終<br>末 | リーダーは、グループ練習の中心となって進めていく。<br>活動例  | ・相互評価<br>よくなった点や課題を評価する。                                    | 導・援助を行う。<br>・相互評価においては、アドバイスだけでなく、生徒同士で「自分ならこんなふうにするよ。」といったモデルも示すように指導する。<br><br>・グループ練習やペアの紹介において、工夫のある紹介ができるようになった生徒の伸びを認めていく。<br>・本時の活動を通して、前時までの課題を克服することができた生徒の努力や伸びを全体の場で認めていく。 |
|        | B子の紹介(Topic2)例  | アドバイス   |   |
|        | Her hobby is <b>listening to music</b> .<br><br>She <b>likes HY</b> now.<br>And she <b>listens to music every day</b> .<br>She has <b>about 20 MDs</b> .<br>And she <b>wants a new album</b> .<br>(太字が実際にメモしたキーワード) | O.K?と確かめたら。<br><br>CDの数が正しく伝わるように、20MDsを繰り返した後に、O.K?と確かめたら。 |   |
|        | ペアで家族の紹介  | イ -<br>・活動の観察<br>構想に基づいて、工夫しながら紹介している生徒を認めていく。              |   |
|        | 本時の取組について自己評価表の視点から振り返り、単元の終末の活動に向けての自己課題を確認する。(資料2の自己評価表を使用)   |   |   |

## 5 評価の実際と個に応じた指導事例

### (1) 本時重点的に取り上げた評価規準

イ -  
相手の理解を確認し、それに応じて工夫しながら家族の紹介をすることができる。

### (2) 評価の実際

#### 評価の方法

#### 活動の観察

- ・ペアでの家族紹介 では、二人の教師が補助簿をもとに、前時に学習した強勢やイントネーションを意識して紹介できなかった生徒を中心に意図的に観察する。
- ・グループ練習では、二人の教師が指導に当たるグループを決めておき、構想を立てる段階でつまづいていた生徒を意図的に見てまわる。構想に基づいた紹介ができていない生徒に対しては、教師が助言やモデルを示したり、グループのメンバーにもアドバイス等をしたりするように働きかけていく。
- ・ペアでの家族紹介 では、グループ練習から工夫のある紹介ができるようになった生徒の伸びを認め、さらに援助が必要な生徒に対しては補助簿にもメモしておく。

#### 学習プリント「紹介の構想表」の点検

- ・生徒が、紹介の内容と紹介の仕方の構想を立てているかを個別指導の中で見届ける。また、授業後は、構想表を集め、一人一人の紹介内容と構想(適切な場面での確認と聞き手が理解できない時の紹介の仕方)を点検する。

#### 評価の決定

- ・グループ練習とペアでの家族紹介 の活動において、相手に理解してほしい大切な内容や聞き取りにくい文の後といった適切ところで相手の理解を確認し、それに応じて、繰り返しや言い換え、ジェスチャーといった表現方法で紹介することができていれば「おおむね満足

できる」状況と判断する。

(3) 個に応じた指導の実際

- ・「おおむね満足できる」状況と判断されない生徒の要因を次のア、イと考え、それぞれの学習状況に応じて次のような具体的な指導・援助を行った。以下はA子に対して行った指導の実際である。

(ア) どういう文のあとに聞き手の理解を確認すると、聞き手に正しく伝わる紹介になるのかわからない。

(イ) 聞き手が理解できない時に、別の表現で言い換えたり、別の表現方法を利用したりすることができない。

(ア)(イ)に対する具体的な指導・援助

家族紹介の仕方の構想を立て、どういう文のあとに聞き手の理解を確かめたら、聞き手に正しく伝わる紹介になるのかを、教師と一緒に発音するなどして指導する。

生徒一人一人がこの目標を達成するためには、常に目標を意識して練習に取り組むことが大切である。そこで、生徒自身が紹介の仕方の構想を立て、それに基づいて練習に取り組む。そして、教師や仲間のアドバイスを受けて、さらに構想を立て直すといった取り組みを大切にしたい。

A子は前時まで、強勢やイントネーションを意識した紹介の仕方の構想を以下のように立てていた。

|   |   |
|---|---|
| Topic 2<br>listening to music<br>likes HY now<br>listens to music everyday<br>about 20 MDs<br>wants a new album<br>(全文を書くのではなく、なるべく紹介に必要なキーワードのみを書く。) | listening to music.を強める。<br>HYを強く、ゆっくりと<br>everyday<br>20MDs 強める<br>new album |
|---|---|

A子は本時の目標である、「相手の理解を確かめたり、それに応じた話し方ができる」を意識した紹介の仕方を考えた時、どういう文のあとにO.K?やYou see?といった確認をすれば、紹介文が聞き手に正しく伝わるのか理解していなかったために、すべての文のあとに確認を入れようとしていた。そこで、教師から「聞き手にとって、聞き取りにくい言葉や理解しにくい言葉はどれだと思う。」と聞くと、「20 MDs」と答えた。A子の経験として、数字は1回聞いただけでは、聞き逃したり、それがいくつなのかすぐにわからない時があったからであった。そこで、She has about 20 MDs.のあとに、O.K?と確認を入れることにした。また、教師から、「20 MDsという言葉聞き手によりはやく理解してもらうために何か工夫できるといいね。」と投げかけると、A子は、O.K?と確認した時に、相手がNO.と答えたら、指で20を示しながら20 MDsと繰り返す構想を立て、グループ練習に臨んだ。

|  |  |
|--|--|
| Topic 2<br>listening to music<br>likes HY now<br>listens to music every day<br>about 20 MDs<br>wants a new album<br>(全文を書くのではなく、なるべく紹介に必要なキーワードのみを書く。) | listening to music.を強める。<br>HYを強く、ゆっくりと<br>every day<br>20MDs 強める <u>O.K?、指で20を示し</u><br>new album <u>20 MDs と繰り返す</u> |
|--|--|

グループ練習の中で、聞き手に理解してもらえなかった文を、どう紹介したら聞き手に正しく

理解してもらえるのか、仲間からアドバイスされたことを参考にしながら考え、構想表に書き込む。

A子が構想通りの紹介をした時、グループのメンバーは20 MDsを正しく理解してくれた。しかし、予期しないことが起きた。それは、メンバーの一人が、every dayという言葉の意味を忘れてしまっていて、A子が何度 every day と言っても分かってくれなかったのである。また、もう一人のメンバーからは、「Her hobby is listening to music.はトピックの最初の文で、何が趣味なのか相手に確実に知ってもらうために、O.K?と確認したら。」というアドバイスも受けた。

そこで、A子は、聞き手が every day を理解できなかった時にどう説明したらよいかを考えた。語彙量が十分でない1年生にとって、別の表現で言い換えることはとても難しいことであったが、A子は、この単元の前に覚えたばかりで、授業の挨拶でもいつも使う曜日を利用することにした。また、メンバーからのアドバイスも受け入れ、最終的に次のような構想を立てた。

|   |  |
|---|--|
| <p>Topic 2<br/>listening to music<br/>likes HY now<br/>listens to music every day<br/>about 20 MDs<br/>wants a new album<br/>(全文を書くのではなく、なるべく紹介に必要なキーワードのみを書く。)</p> | <p>listening to music.を強める。 O.K?<br/>HYを強く、ゆっくりと<br/>every day Monday, Tuesday, Wednesday...<br/>20MDs 強める <u>O.K?、指で20を示し</u><br/>new album <u>20 MDs と繰り返す</u></p> |
|---|--|

ペアでの家族紹介 を練習の成果を発揮する場とする。

本時の終末の活動として、新しいペアとの紹介活動を位置付けた。この活動では、生徒一人一人がグループ練習などを通して高めてきた成果が発揮できているかを見届け、伸びを認める場とした。A子は自分が立てた構想を意識しながら紹介し、グループ練習の時よりも、確実に聞き手に正しく伝わる紹介ができていた。

単元を通した継続的な手だて

・ 帯活動として取り組んだカードゲーム

カードゲームを毎時間行い、個別指導を通して、つまづいている生徒を指導することで、どの生徒もより多くの動詞を運用できると同時に、三人称単数現在の文を正しく作ることができるようにした。

【カードゲームの内容】

・ 1グループ4人のメンバーで行う。2人の動詞カードを使い、同じカードは1人1枚しか取れない。

T: have-has (教師が絵の単語を発音する。)

S: have-has (生徒は教師の発音を聞き、リピートする。リピートした後に、動詞カードを取る。)

**\*この活動で、動詞の変形を理解し、正しく発音できるようにする。**

S1: I have a dog. Do you have a dog?

(カードを取った生徒S1は、その動詞を用いて、自分のことを紹介する文を述べ、カードを取らなかった生徒S2に質問する。)

S2: No, I don't. (S2はその質問に答える。)

S1: S2 doesn't have a dog. (to S3)

(S1はS2のことをカードを取らなかったもう一人のS3に紹介する。)

**\*この活動で、三人称単数の現在の文を正確に作ることができるようにする。**

・練習問題に対する生徒の自己評価（つまずき）に応じてアドバイスをする。

一人一人の生徒に一般動詞における三人称単数現在の文を確実に理解してもらえるように、学習プリントに以下のような、生徒の自己評価とそれに対する教師のアドバイスを書く欄を設け、生徒のつまずきに適切に対応できるようにした。

これは、一般動詞三人称単数現在の肯定文と否定文を学習した時のB男の自己評価とそれに対する教師のアドバイスである。

B男は、練習問題で、主語が人の名前であるために、plays としてしまったのである。主語が単数、複数の時の違いを理解していなかったからである。そのために、アドバイス欄に上のようなアドバイスをしたわけである。

|   |  |
|---|--|
| <p><b>【自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どのような主語の時に動詞に s や es がつくのか理解できた。<br/>評価：(            )</li> <li>・ 動詞の語尾がどのような時に es がつくのか理解できた。<br/>評価：(            )</li> </ul> | <p><b>【アドバイス】</b></p> <p>Kenji and Tom play tennis.<br/>なぜ、plays にならないかというと、主語が I,you 以外の単数( 1人)の場合に、動詞に s または es がつくのです。どんな主語であっても2人以上の時には、s,es はつきません。上の文の主語は Kenji and Tom で2人ですから、plays にはなりません。</p> |
|---|--|

B男は、練習問題で Ms. Okada does not lives in Japan. と書いた。B男は、主語が Ms. Okada であるために、動詞に s をつけなければいけないと考えたためであり、否定文で does not が動詞の前に入ると動詞には s,es がつかないということを理解していなかったのである。そのために、アドバイス欄に上のようなアドバイスを書いたのである。また、説明だけではなく、家庭学習の仕方についてもアドバイスした。

|   |   |
|---|---|
| <p><b>【自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 否定文を作る時には、動詞の前に does not を付けることが理解できた。<br/>評価：(            )</li> <li>・ does not の短縮形が doesn't であることが理解できた。<br/>評価：(            )</li> <li>・ does not(doesn't)がつくと、動詞が原形になることが理解できた。<br/>評価：(            )</li> </ul> | <p><b>【アドバイス】</b></p> <p>Ms. Okada <u>lives</u> in Japan.<br/>主語が I,you 以外で、単数の時には、lives のように動詞の語尾に s または es がつきます。<br/>Ms.Okada <u>does not(doesn't)</u> live in Japan.<br/>しかし、否定文にする時には、動詞の前に does not(doesn't)が入るため、動詞の語尾に e,es をつけません。<br/>家庭学習として<br/>・ニューアプローチの Step1,2 の問題で必ず学習すること。<br/>・カードを利用して、肯定文、否定文を作る練習をすること。</p> |
|---|---|

こうしたB男への指導を通して、B男は三人称単数現在の文を理解し、定期テストにおいて、三人称単数現在の文にかかわる問題で、9割以上正答することができた。

#### ・補助簿の活用

補助簿に単元を通しての生徒の状況をメモすることで、生徒の実態を把握し、毎時間、より意図的、より適切な指導・援助が行えるようになった。また、補助簿を利用することでより確かな単元末の評価の総括を行うことができるようになった。特に、表現の能力に関わっては、 と評価した時には、次時の授業で再度指導するように心がけた。こうした指導を通して、一人一人の生徒に対して、意図的な指導ができるようになった。これは、B男の補助簿である。

Unit 6 単元の活動「家族の紹介」  
1年B組 番 氏名

## 1学期 単元の活動「自己紹介」の評価

|                     |       |       |                |
|---------------------|-------|-------|----------------|
| コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 表現の能力 | 理解の能力 | 言語や文化に関する知識・理解 |
| A                   | B     | A     | B              |

6月に行った「自己紹介」の評価を記入することで、生徒一人一人の実態把握と本単元での一人一人に対する指導の見通しをもつことができた。

## 単元の活動：「家族の紹介」

## 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

| 学習活動における具体の評価規準       | 活動観察メモ     | 最終評価 |
|-----------------------|------------|------|
| 間違いを恐れず家族の紹介をしている。    | 笑顔、大きな声    | A    |
| 相手の理解を確かめながら話そうとしている。 | 一方的意識できている | A    |

## 【表現の能力】

| 学習活動における具体の評価規準                                | 活動観察メモ                                     | 最終評価 |
|--|--|------|
| 三人称単数現在の文を用いて、身近な人の情報を正しく伝えることができる。            | doesn't knows 指導した 次回観察<br>つまりながらも、意識できている | B    |
| 正しい発音、強勢、イントネーションを用いて、聞き手に正しく伝わるように紹介することができる。 | 発音はO.K. 強勢ができていない<br>強勢意識できてきた             | B    |
| 相手の理解を確認し、それに応じて紹介することができる。                    | 一方的確認 O.K.                                 | B    |

## 【理解の能力】

| 学習活動における具体の評価規準                  | 活動観察メモ                | 最終評価 |
|----------------------------------|-----------------------|------|
| うなずいたり、繰り返したりと、理解を示しながら聞くことができる。 | うなずきはO.K.<br>繰り返しができる | A    |
| 家族の紹介を聞いて、聞き取れなかった時に、聞き返すことができる。 | Pardon?               | A    |

## 【言語や文化についての知識・理解】

| 学習活動における具体の評価規準                      | 練習問題チェック   | 評価 |
|--------------------------------------|--|----|
| 三人称単数現在の肯定文、疑問文、否定文の形態、意味、用法を理解している。 | ・練習問題1 ( )<br>・練習問題2 ( )<br>・練習問題3 ( )<br>・定期テスト ( A ) | A  |

活動観察中における評価は、観点を絞り、簡単に評価できるように、達成度を または で評価していく。また の場合には、つまずきや指導した内容を簡単にメモしておくが良い。











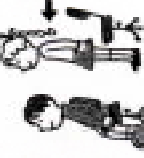
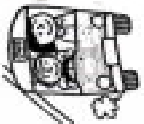
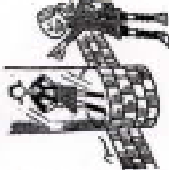
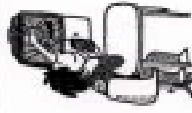



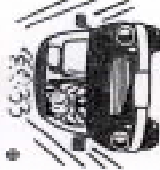
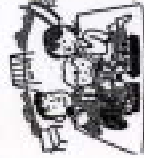



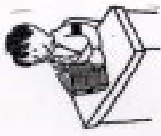
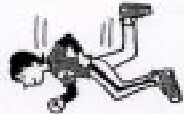

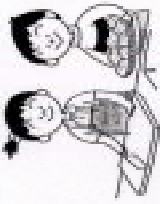
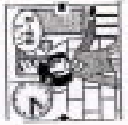
最終評価は、ビデオを観て2人の教師で評価する。

練習問題1, 2, 3は・主語に応じた動詞の変形・否定文の作り方・疑問文の作り方が理解できているかどうかを か で評価する。

定期テストは、正答率が59%以下ならC, 60%~89%をB, 90%以上をAと評価する。

6 参考資料

資料1 帯活動で使うカード(第1時~第7時の導入[カードゲーム]で使用)

|   |  |   |   |   |   |   |   |   |   |  |  |  |   |   |   |  |   |   |   |  |   |  |   |   |  |   |
|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|--|--|--|---|---|---|--|---|---|---|--|---|--|---|---|--|---|
| <br>walk-walks | <br>teach-teaches | <br>get up gets up | <br>swim-swims | <br>finish-finishes | <br>Goodbye,<br>Mr. Smith.<br>speak-speaks | <br>walk-walks | <br>play-plays | <br>write-writes | <br>look at-looks at | <br>stand-stands | <br>go to-goes to | <br>want-wants | <br>watch-watches | <br>go to bed-goes to bed | <br>have-has | <br>live-lives | <br>drive-drives | <br>enjoy-enjoys | <br>read-reads | <br>listen to-listens to | <br>come-comes | <br>study-studies | <br>run-runs | <br>find-finds | <br>help-helps | <br>leave home-leaves home |
|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|--|--|--|---|---|---|--|---|---|---|--|---|--|---|---|--|---|

資料2 家族紹介自己評価表（全時間の目標をもつ場面と振り返りの場面で使用）

|                 |  |         |  |
|-----------------|--|---------|--|
| Grade and class |  | Name    |  |
| Date            |  | Weather |  |

**家族紹介自己評価表**  
**家族紹介で身に付けるコミュニケーションの力**

| コミュニケーションへの関心・意欲・態度   | 紹介する力  | 紹介を聞き取る力   | 基本文に対する理解                                    |
|---|--|--|--|
| <p>(紹介する意欲・態度)</p> <p>ア間違いを恐れずに家族の紹介をする。</p> <p>イ相手の理解を確認し、それに応じて紹介しようとする。</p> <p>(聞く意欲・態度)</p> <p>ウ紹介に対して、反応しながら意欲的に聞く。</p> <p>エ知りたい情報を質問しようとする。</p> | <p>ア三人称単数現在の文を用いて、家族のことを正しく伝えることができる。</p> <p>イ正しい発音、強勢、イントネーションを用いて、聞き手に正しくわかるように紹介することができる。</p> <p>ウ相手の理解を確認し、それに応じて紹介することができる。</p> | <p>ア家族の紹介を聞いて、その内容を正しく聞き取ることができる。</p> <p>イ家族の紹介を聞いて、聞き取れなかった時に聞き返すことができる。</p> <p>ウさらに聞いてみたい情報について質問することができる。</p> | <p>ア三人称単数現在の肯定文や疑問文、否定文の語順や形態や意味を理解している。</p> |

|           |  |                  |                                    |
|-----------|--|------------------|------------------------------------|
| <b>1時</b> | <b>家族紹介を通して頑張ること</b><br>* 単元を通して、特に表現の能力（紹介する力）に関わって、頑張ることを書く。 |                  |                                    |
| <b>2時</b> | コミュニケーションへの関心・意欲・態度<br>ア -                                     | 紹介する力            | 授業の振り返り<br>* 本時の目標を上表から選び、評価はかで行う。 |
| <b>2時</b> | 紹介を聞き取る力   | 基本文に対する理解<br>ア - |                                    |
| <b>3時</b> | コミュニケーションへの関心・意欲・態度  | 紹介する力            | 授業の振り返り                            |
| <b>3時</b> | 紹介を聞き取る力   | 基本文に対する理解        |                                    |
| <b>4時</b> | コミュニケーションへの関心・意欲・態度  | 紹介する力            | 授業の振り返り                            |
| <b>4時</b> | 紹介を聞き取る力   | 基本文に対する理解        |                                    |
| <b>5時</b> | コミュニケーションへの関心・意欲・態度  | 紹介する力            | 授業の振り返り                            |
| <b>5時</b> | 紹介を聞き取る力   | 基本文に対する理解        |                                    |
| <b>6時</b> | コミュニケーションへの関心・意欲・態度  | 紹介する力            | 授業の振り返り                            |
| <b>6時</b> | 紹介を聞き取る力   | 基本文に対する理解        |                                    |
| <b>7時</b> | コミュニケーションへの関心・意欲・態度  | 紹介する力            | 授業の振り返り                            |
| <b>7時</b> | 紹介を聞き取る力   | 基本文に対する理解        |                                    |

# 一般動詞 三人称単数現在の学習プリント

C l a s s

N a m e

目標：主語によって動詞に s または es がつく文を理解しよう。

1. 次の文の ( ) 内の語を適する形にかえなさい。ただし、かえる必要がなければそのまま書きなさい。【語形変化】

(1) Kenji (play) tennis. ( )

(2) Yumi (like) music. ( )

(3) Demi often (watch) TV. ( )

(4) My sister (go) to school by bike. ( )

(5) Kumi (study) English every day. ( )

2. 左のメモを参考にして、ユウジを紹介する英文を完成させなさい。【表現】

名前：Yuji  
住んでいる所：高山  
好きなスポーツ：テニス

This is Yuji.

---

---

【自己評価】

・ どの主語の時に動詞に s や es がつくのか理解できた。

評価：( )

・ 動詞の語尾がどの時に es がつくのか理解できた。

評価：( )

【アドバイス】



# 一般動詞 三人称単数現在の学習プリント

C l a s s

N a m e

目標：does not を使う否定文の形を理解しよう！

1. 次の文を否定文に書きかえる時、( ) に適する語を書きなさい。【書きかえ】

(1) I speak English.

I ( ) ( ) English.

(2) Ms. Okada lives in Japan.

Ms. Okada ( ) ( ) ( ) in Japan.

(3) My brother studies English hard.

My brother ( ) ( ) English hard.

(4) Yuka has a dog.

Yuka ( ) ( ) a dog.

2. 左のメモを参考にして、トムを紹介する英文を完成させなさい。【表現】

名前：Tom  
トムは、野球は好きだけど、サッカーは好きでない。

This is Tom.

But

## 【自己評価】

・否定文を作る時には、動詞の前に does not を付けることが理解できた。

評価：( )

・does not の短縮形が doesn't であることが理解できた。

評価：( )

・does not(doesn't)がつくと、動詞が原形になることが理解できた。

評価：( )

## 【アドバイス】

# 一般動詞 三人称単数現在の学習プリント

C l a s s

N a m e

目標：Does で始まる疑問文の形と答え方を理解しよう！

1. 次の文を疑問文に書きかえ、( )内の語を使って答えなさい。

(1) You play the piano.(Yes)

疑問文：( ) you ( ) the piano?

答え：( ),( )( ).

(2) Your brother writes *haiku*. (Yes)

疑問文：( ) your brother ( ) *haiku*?

答え：( ),( )( ).

(3) Kumi studies English every day. (No)

疑問文：( ) Kumi ( ) English every day?

答え：( ),( )( ).

|   |                       |
|---|-----------------------|
| <p><b>【自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・疑問文を作る時には、主語の前に Does を付けることが理解できた。<br/>評価：( )</li><li>・Does がつくと、動詞が原形になることが理解できた。<br/>評価：( )</li><li>・Yes,No で答える時の文の形が理解できた。<br/>評価：( )</li></ul> | <p><b>【アドバイス】</b></p> |
|---|-----------------------|

資料3 A L Tのプロフィール1 (第3時のA L Tについてのインタビューで使用)

|                        |             |                |  |
|------------------------|-------------|----------------|--|
| <b>Grade and class</b> | <b>Name</b> |                |  |
| <b>Date</b>            |             | <b>Weather</b> |  |

目標：A L Tについて質問し、プロフィールを完成させよう！

| 名前      | K a t e | T o m | R o y |
|---------|---------|-------|-------|
| 出身国     | カナダ     |       |       |
| 年齢      | 23才     |       |       |
| 家族      | 5人      |       |       |
| 住んでいる所  | 仙台      |       |       |
| 好きなスポーツ | バスケット   |       |       |
| 好きな食べ物  | ピザ      |       |       |
| 好きな教科   | 国語      |       |       |
| 趣味      | 釣り      |       |       |

Useful expressions

・出身地を聞く時

A: Where is Mark(Nancy) from?

B: He(She) is from England.

・年齢を聞く時

A: How old is he(she)?

B: He(She) is 15 years old.

・家族

A: How many family members does he(she) have?

B: He(She) has four.

・住んでいる場所を聞く時

A: Where does he(she) live?

B: He(She) lives in Tokyo.

・好きなものを聞く時

A: What sports (foods, subjects)does he(she) like?

B: He(She) likes baseball( curry and rice, math).

A: What is his(her) favorite sport( food, subject)?

B: His(Her) favorite sport(food, subject) is baseball( curry and rice, math).

・趣味を聞く時

A: What is his(her) hobby?

B: His(Her) hobby is running.

資料3 A L Tのプロフィール2 (第3時のA L Tについてのインタビューで使用)

|                        |                |  |
|------------------------|----------------|--|
| <b>Grade and class</b> | <b>Name</b>    |  |
| <b>Date</b>            | <b>Weather</b> |  |

目標：A L Tについて質問し、プロフィールを完成させよう！

| 名前      | K a t e | T o m   | R o y |
|---------|---------|---------|-------|
| 出身国     |         | オーストラリア |       |
| 年齢      |         | 32才     |       |
| 家族      |         | 6人      |       |
| 住んでいる所  |         | 熊本      |       |
| 好きなスポーツ |         | テニス     |       |
| 好きな食べ物  |         | ハンバーグ   |       |
| 好きな教科   |         | 理科      |       |
| 趣味      |         | 料理を作ること |       |

Useful expressions

・出身地を聞く時

A: Where is Mark(Nancy) from?

B: He(She) is from England.

・年齢を聞く時

A: How old is he(she)?

B: He(She) is 15 years old.

・家族

A: How many family members does he(she) have?

B: He(She) has four.

・住んでいる場所を聞く時

A: Where does he(she) live?

B: He(She) lives in Tokyo.

・好きなものを聞く時

A: What sports (foods, subjects)does he(she) like?

B: He(She) likes baseball( curry and rice, math).

A: What is his(her) favorite sport( food, subject)?

B: His(Her) favorite sport(food, subject) is baseball( curry and rice, math).

・趣味を聞く時

A: What is his(her) hobby?

B: His(Her) hobby is running.

資料3 A L Tのプロフィール3 (第3時のA L Tについてのインタビューで使用)

|                        |                |  |
|------------------------|----------------|--|
| <b>Grade and class</b> | <b>Name</b>    |  |
| <b>Date</b>            | <b>Weather</b> |  |

目標：A L Tについて質問し、プロフィールを完成させよう！

| 名前      | K a t e | T o m | R o y  |
|---------|---------|-------|--------|
| 出身国     |         |       | アメリカ   |
| 年齢      |         |       | 27才    |
| 家族      |         |       | 7人     |
| 住んでいる所  |         |       | 京都     |
| 好きなスポーツ |         |       | バレーボール |
| 好きな食べ物  |         |       | スパゲティ  |
| 好きな教科   |         |       | 社会     |
| 趣味      |         |       | 歌うこと   |

Useful expressions

・出身地を聞く時

A: Where is Mark(Nancy) from?

B: He(She) is from England.

・年齢を聞く時

A: How old is he(she)?

B: He(She) is 15 years old.

・家族

A: How many family members does he(she) have?

B: He(She) has four.

・住んでいる場所を聞く時

A: Where does he(she) live?

B: He(She) lives in Tokyo.

・好きなものを聞く時

A: What sports (foods, subjects)does he(she) like?

B: He(She) likes baseball( curry and rice, math).

A: What is his(her) favorite sport( food, subject)?

B: His(Her) favorite sport(food, subject) is baseball( curry and rice, math).

・趣味を聞く時

A: What is his(her) hobby?

B: His(Her) hobby is running.

資料4 家族紹介のモデル(第1時,第6時,第7時のモデルとして使用)

|                 |         |
|-----------------|---------|
| Grade and class | Name    |
| Date            | Weather |

**単元の活動：「家族の紹介」**

**Introduction**

This is my daughter Kaho.  
She is eleven years old.  
She is very tall. She is 157 centimeters tall.

**topic 1**

She likes *shuji* very much.  
And she goes to *shuji* school every week.  
She can write *kanji* and *hiragana* very well.  
She has the second grade.

**topic2**

Her hobby is collecting Kitty's towels.  
She likes Kitty very much.  
She has about 50 towels.  
This is a *Shinshu* version.  
She wants a Hokkaido version now.

**topic3**

Her favorite singer is *Morning musume* .  
She has many CDs.  
And she listens to *Morning musume's* CDs every day.  
And she sometimes sings and dances.  
She is very pretty and I love her.

資料5 家族の紹介構想表（第4時～8時の紹介内容作り，紹介構想作り，紹介発表に使用）

|                        |                |
|------------------------|----------------|
| <b>Grade and class</b> | <b>Name</b>    |
| <b>Date</b>            | <b>Weather</b> |

**単元の活動：「家族の紹介」**

| 紹介の内容  | 紹介の仕方の構想  |
|--|---|
| likes <i>shuji</i><br>goes to~ every week<br><br>can write<br>the second grade | <i>shuji</i> を強める<br>goes , <i>shuji</i> school, every week を強め,一文をゆ<br>っくりと(O.K?)<br>write, very well をゆっくりと強める<br>second を強める(O.K?) |
| Introduction   |   |
| Topic1   |   |
| Topic2   |   |
| Topic3   |   |

資料6 家族の紹介表現集 (第2時からのペアでの家族紹介と家族紹介の内容作りに使用)

|                 |         |
|-----------------|---------|
| Grade and class | Name    |
| Date            | Weather |

単元の活動：「家族の紹介」

有効な表現

【年や身長のことを言う時】

He (She) is ten years old.

He (She) is 153 centimeters tall.

【得意なことをや上手にできることを言う時】

He (She) can play baseball well. (彼は上手に野球をすることができる。)

～ を上手にすることができる

【趣味について言う時】

His (Her) hobby is playing baseball ( fishing, reading comic books ).

【好きなことを言う時】

He(She) likes tennis ( math, fishing ).

His (Her) favorite food is yakiniku.

sport is baseball.

singer is Kuwata Keisuke.

【授業で習った表現をメモしておこう】



資料7 パフォーマンステスト(第8時)

授業形態・・・少人数(生徒を半分に分け、2教室で行う。)

テスト方法

- ・あらかじめ教師が紹介し合うペアを決めておく。(本時までには紹介し合ったことがないペアを作る。)
- ・A, Bのペアの場合、最初にAが話し手となり、Bが聞き手となって紹介活動を行う。それがすんだら、Aが聞き手となり、Bが話し手となる。

評価方法

- ・生徒の紹介活動をビデオに録画し、二人の教師とALTでA, B, Cの3段階で評価し、補助簿の最終評価欄に記入する。
- ・生徒は審査表に1, 2, 3の3段階で表現のみを評価し、合計を出す。生徒の審査でベストスピーカーを3人選出する。次時に全体の場で紹介をしてもらう。

審査表

| 名 前 | 強勢やイントネーションを意識して紹介している | 相手の理解を確認し、それに応じて工夫のある紹介をしている | 合計 |
|-----|------------------------|------------------------------|----|
| A   |                        |                              |    |
| B   |                        |                              |    |

3・・・とても良くできている

2・・・ある程度できている

1・・・もう少し努力できる

- ・生徒と教師は一人一人の紹介の仕方と聞き方の良かった点をペアごとの紹介が終わった時にコメントする。